

Sant' Eustachio®
il caffè
dal 1938 a Roma



山岳地帯スルデミナス、ポソフンドのブラジリアンコーヒー

-アルトロメルカートより輸入、カフェサンエウスタキオの自家焙煎-

ポソフンドはブラジルのミナスジェライス州南部に位置する17000人の住む町で、山が多く自然とたくさんの水に恵まれた所です。そしてその風景はコーヒー栽培一色でブラジル産コーヒーの多くを占めます。1991年、ポソフンドの貧しい農業者達が一体となり“ベケ-ノスプロドウト-レス協会”を結成、その目的は組織の発展、彼等の労働条件と生活の向上でした。

現在**会員250人**、ポソフンドで結成されたこのグループは**COOPFAM**共同組合へと変わりました。主な産物はコーヒー（年間平均12000袋）です。そして近辺の町の5つの協会も加わり、慈善目的での教育活動などを協力しあうことを決めました。1997年、組合はエクオエソリダーレ（Max Havelaar）とAAO（有機栽培協会）の認証を再申請し始めました。2002年よりサブカイという地方共同団体から、地元の有機栽培農作物、鶏、卵、穀物の販売資格を受けました。そして世界共通のマークBSC OKO-GARANTIEも獲得しました。今日では、FAIRTRADE LABEL ORGANIZATION、NATURELAND、UTZ、RAINFOREST ALLIANCEの認定でほとんど全ての地元産のコーヒーを売っています。このコーヒーはアメリカ、日本、ヨーロッパで有機農法とエクオエソリダーレの認定を受け、生産者達の公正な権利と社会的人道を保障しています。

COOPFAMは**アラビカ種**に属するカトゥーラとムンドノーヴォの**有機栽培**を約30万本を持っています。寄生虫駆除剤や化学肥料を使わず、一般農法と違った“クリーン”技術を利用して育てています。複数ある協会の一部は従来型農法から有機農法への切り替えを試みっていますが、これは多くの困難を伴います。有機農法は労働量がかかなり増すのですが、それに対する賃金はまだ十分ではありません。協会の会長は“重労働でも土壌、環境に最もふさわしいやり方で行うという信念が彼等を動かしている”と語っていました。コーヒー豆の乾燥はゆっくりと太陽の下で行われます。こうすることでコーヒー本来の持ち味を損なうことなくできあがります。このコーヒーは質の良い中央アメリカ産のものに似ていて柔らかい酸味があります。

ALTOMERCATO（アルトロメルカート）とは・・・

CTMアルトロメルカートとは120の団体からなる非営利目的の事業団で、エクオエソリダーレ（公正取引）を広め、助成、促進をしています。活動はアフリカ、アジア、中南米の農業者、職人達の団体からなる協同組合を通して、融資、その地域の特産物、食品、手工芸品などの販売を行い、世界南北間の経済問題について情報収集し、その解決を目指しています。15年の活動歴で、今までに40か国150の生産者達のグループに共同事業を計画してきました。発展途上国の製品を適正な価格で購入すること、労働に釣り合った賃金を保証し、生産者側と直接的な共同関係を持続的に築き、注文分の50%までを前払いすることにも同意しています。1989年に北イタリアのボルツァーノ市で数人の人と協会が一緒になって始めたのが最初で、現在CTMは世界で118の店と、イタリアでは230の売店を持ち、200人以上を雇い、約3000人ものボランティアに支えられています。2003年には売り上げ高3千万ユーロ、前年と比較で30%の成長率で、今のところイタリアの公正取引事業団では最大の組織と言えます。（世界第2位）